

コミュニティ・スクール

井荻小学校
学校運営協議会

「コミュニティ・スクール（Community School）とは？」

学校運営協議会制度を導入している学校です。

保護者や地域のみなさんが共に知恵を出し合い、学校運営に参加することができる「学校運営協議会」が設けられます。これまでの学校評議員会制度等の地域に開かれた学校づくりの取り組みをさらに進め、継続的、持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。



コミュニティ・スクール（地域運営学校）として、
始動から1年が経ちました。

メンバー11名と共に、井荻らしい学校づくりについて向き合った1年でした。まずは、協議会のテーブルを囲むお互いを知るところから始め、校舎を知り、児童を知り、職員、保護者…と、ひとつひとつ確認しながら話し合ってきた様に思います。

本紙では、「この1年を振り返って、各々が思うこと」と「活動報告」を紹介させていただきます。

コミュニティ・スクール井荻小の1年を振り返って



学校運営協議会会長
東海林 孝吉

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校をいいます。令和元年5月1日現在、全国の幼・小・中・高・特別支援学校のうち21.3%が導入し益々拡大しています。井荻小学校も設置して1年半が過ぎました。育てたい子供像や目指す学校像に関する教育計画等を共有しながら、学校と協議会が対等の立場で子供たちの現状や学校運営について多様な思いや考えを出し合いました。そして井荻小学校の新たな魅力や課題について協議してきました。詳細は次ページに紹介してあります。

さらに地域社会全体で子供たちの学びや成長を支え、『地域とともにある学校』づくりと『地域の活性化』を推進していくには、教職員が地域との連携・協働の意義を深め、その役割を自覚することが大切と考え、期待しています。また家庭・地域においては、活動に関わる人が拡大していくこと、さらに活動を次世代に継続していく体制が必要になると思うこの頃です。



会長職務代理
田中 奈那子

平成30年10月付けで、井荻小学校学校運営協議会委員を拝命いたしました。

そして職務代理者をお引き受けすることになりました。会長の足手まといにならないようにサポートが出来るように努力したいと思います。

井荻小は5人の子供達もお世話になり、PTA活動にも関わらせて頂きました。子どもたちを取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で、井荻の子どもたちは元気で生き生きしています。その子どもたちのために、地域と学校のかかわりを深めながら、より良い学校作りを考え力を尽くしていきたいと思っています。



井荻小学校校長
小澤 伸生

コミュニティ・スクールとして歩み出して1年が過ぎました。学校運営協議会で話し合い、承認された教育活動を、学校支援本部いおざ丸さん、教職員、そして地域・保護者の皆様と進めてきた1年です。毎回の協議会はもちろん、教職員との懇談会など、初めての試みの中で委員の皆様との連携が強まっていくのを感じています。

「働き方改革」に「新学習指導要領」等々、学校が乗り越えて行かなければいけないハードルは多種多様ですが、井荻小の特色や良さをこれからも大切にし、「ONE TEAM」となってチャレンジしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年度活動報告

【2019年】

第1回学校運営協議会 4月22日(月)

- 教職員の異動と組織、学校運営計画、行事予定について
- 学校運営協議会の年間計画と組織について

第2回学校運営協議会 5月27日(月)

- 学校から児童の実態と学級経営の状況、学校予算について
- 学校運営協議会の予算計画
- 施設設備の整備状況と安全点検

第3回学校運営協議会 6月24日(月)

- 学校、児童の状況報告と授業参観
- PTA役員との懇談

第4回学校運営協議会 7月22日(月)

- 教職員との懇談会

第5回学校運営協議会 9月25日(水)

- 教員の任用に関する意見検討
- 授業参観の感想・意見交換
- 広報紙の発行計画

第6回学校運営協議会 10月23日(水)

- 管理職の人事に関する意見検討
- 学校経営計画の実施状況

第7回学校運営協議会 11月20日(水)

- 学力調査の結果と改善計画について
- 校内研究や研修について
- 教育調査及び学校評価アンケートについて

第8回学校運営協議会 12月25日(水)

- 体力調査の結果、食育、学校保健状況について
- 教員の働き方改革状況
- CS委員会便りの編集計画

【2020年】

第9回学校運営協議会 1月25日(土)

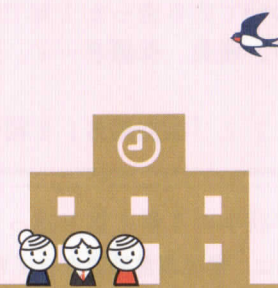
- 学校から児童の状況
- 学校内部評価の報告と協議
- 「学校評価委員会」
- ・教育調査の結果と協議
- ・学校内部評価の報告と協議

第10回学校運営協議会 2月26日(水)

- 児童の状況について
- 令和2年度の教育課程の承認

第11回学校運営協議会 3月18日(水)

- 次年度の学校経営方針の承認
- CS委員会の反省と次年度の計画



PTA役員との懇談会

実施日：6月27日(月)
場 所：校長室
参加人数：16名
(PTA役員3名、行政2名、副校長、CS委員10名)

6月第3回学校運営協議会の際、PTA役員の方との懇談会を行いました。
各CS委員、PTA役員の自己紹介から始まり、会長より学校運営協議会について説明をさせて頂きました。

PTA役員の方からは、学校運営協議会が在校生保護者にどの様に関わるのか、学校運営協議会と学校支援本部の違いについて、コミュニティスクールになって何が変わったのか等の質問が有りました。

また、PTA役員及び委員決めの現状についてや在校生保護者の現状についてお話を頂きました。

懇談会を行って、学校運営協議会の事を知って頂き、在校生保護者の現状を把握する為に今後も懇談会を行い、広報活動をしていこうと思っております。



教員との懇談会

～ワールドカフェスタイル～

実施日：7月22日(月)
場 所：図書室
参加人数：29名
(教員16名、行政2名、CS委員11名)
司会：松田副校長・岩淵

初めての懇談会をワールドカフェスタイルで行いました。5グループに分かれ、3つのテーマに沿って話しました。席替えを2回したのではほぼ全員と話することができて、良かったです。テーマは、
①1学期の心に残った事、感動したこと
②井荻小のいいところと課題
③こんなことをやりたい・理想の学校

についてです。その結果、先生方の生の声が聴けた事、働き方改革で苦労していること等がわかり、これから実践できることは即実行していくべきだと実感しました。ほとんどの先生が出席して和やかな雰囲気の中で深い良い話が出来ました。これからもこのような場を設けていきたいと思えました。主な内容は以下の通りです。

①1学期の心に残った事、感動したこと

- ・春の運動会は天候不順の中短時間で集中して成果を上げることができた。本番の子どもの凛々しい顔に感動した。学年がまとまるのが早かった。
- ・環境学習を続けていると子どもの積み重ねが高まっている。先輩のやってきたことを伝えていきたいという思いに感動した。上の学年が下の学年に伝えている「カッコよさ」、先輩のやってきたことを知りたいという縦のつながりがある。
- ・雨水タンクを授業に使用して1年生も先生もうれしかった。

②井荻小のいいところと課題

- ・川の学習(生き物、昆虫、鳥)が盛んなので、先生自身が学んでいかなければならない。
- ・自然がすごい!!野鳥観察は素晴らしい。
- ・子どもたちは時間がかかるが頑張る子が多い。
- ・学校支援本部のバックアップ(川等いろいろな体験や活動ができる)子どもにとっても良い体験になっている。
- ・地域やいろいろな方とつながっているところ。オープンな雰囲気がある。自由さ。子どもがのびのびしている。

- ・ICTについて 子どもの呑み込みが早い。うまく活用していきたい。
- ・先生以外の人も馴染んでいてちょっとおもしろい学校だけど、いいなあとと思う。
- ・昭和の子どもと昭和の学校…落ち着いている。素朴な子が多い。教員の交流イベントがすごい!!忙しいけど楽しい。井荻小ならではの!!
- ・長くいる先生が他者に目を向ける余裕があり、人を思う心を感じる。
- ・先生があたたかい。いつも励ましてもらっている。
- ・全校生徒の顔と名前が一致している。
- ・学校全体で子どもたちを見ていられるところ。
- ・学習体験が充実している。
- ・保護者会の出席率が高い。
- ・地域の思いやり、やさしさを夏まつり参加で感じた

◎ちょっとな～と思う事や課題

- ・自分に自信がない子が多い。
- ・大人数だと強気だが一人になると小さくなる。
- ・授業参観に来る保護者の人数が少ない気がする。
- ・いい意味で過度にICT…新しい事なので難しい。研修する間もなく活用していくことが大変。
- ・子どもの持っている力を引き出すことがとても大事(ICT機器等)
- ③こんなことをやりたい・理想の学校
- ・南門横にできたピオトープをどんどん利用していきたい。
- ・ピオトープルールがあるといい。
- ・このように話しやすい場をこれからも設けてほしい。
- ・学校の中でも自然を生かしたことをしてみてもどうか。
- ・CSはお目付け役と思っていたが共に歩んで行くのだと分かった。

(岩淵)



学校運営協議会に参加して、小学生の学ぶ内容や学び方、親子関係、また小学校の運営方法が大きくかつ急速に変わりつつあることを実感しています。その変化に対応しつつ、小学校に関わる皆さんが自信をもって小学生たちを育てていくことが大事だと思ひ、運営協議会がその役に立てればと願っています。



委員 山中 由也

井荻小の「学校運営協議会」の発足に私が選任されたのは、4人の子どもが17年間井荻小にお世話になった保護者の立場と、昭和56年PTA野球部、57年少年野球部の設立に関与、今日まで40年間たずさわっている地域住民の立場と理解しています。



委員 二村 好彦

CSを1年振り返って

月に1回もあるの?と、ちょっと重い心で始まったCSですが、様々な課題について本音が言えるリラックスした雰囲気の中、真摯に熟議することが楽しくなってきたこの頃です。これからも不易流行を軸に考えていきたいです。微力ながらよろしくお願ひいたします。



委員 岩淵 晴子

井荻小に携っていると、いずれ社会へ羽ばたく子どもたちにとって、小学校6年間での「時間と経験」の尊さを実感します。



委員 中谷 理彩子

学校運営協議会の委員として

様々な場面の子供達を見て、子どもの心に寄り添える人の必要性を実感しました。地域の人々の活用で、もう少し大きい輪環を作っていくのも必要になってきているのではないのでしょうか。



出来る人が!出来る時に!出来る事を。私もその一助になればと思ひます。

委員 澤地 さちえ

学校運営委員を拝命し、あっという間の一年でした。PTAから地域の一員と学校への立ち位置は変わり、色々な見方が変わりました。また立ち位置が変わることにより、知る内容も変わり、とても勉強になりました。



次年度も微力ながらお手伝いをさせて頂き、合わせてさらに学んでいきたいと考えています。

委員 稲富 太志

子どもたちの笑顔、先生の笑顔のためにそして井荻小のために何ができたのか…保護者の声を聞き、子どもたちの表情やコトバを感じ、井荻らしさって何かを考えます。



子どもたちに肯定感を求めるならば、大人ももちろん自分を認めて自分で良い悪いを判断していけるようになりたいです。

委員 会田 洋子

最初は今までやってきたPTAとは違う委員の方と関わっていく事に緊張しました。1年たってその緊張もとけ、今はPTAとはまた違う話や考えを聞ける事が楽しになっています。



これからも在校生保護者代表として保護者の現状を知っていただける様感じている事や考えを少しでも話していければと思っています。

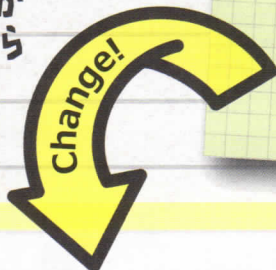
委員 岩崎 路子

地域と共にある学校づくりの一層の推進

学校評議員会から学校運営協議会へ

logi

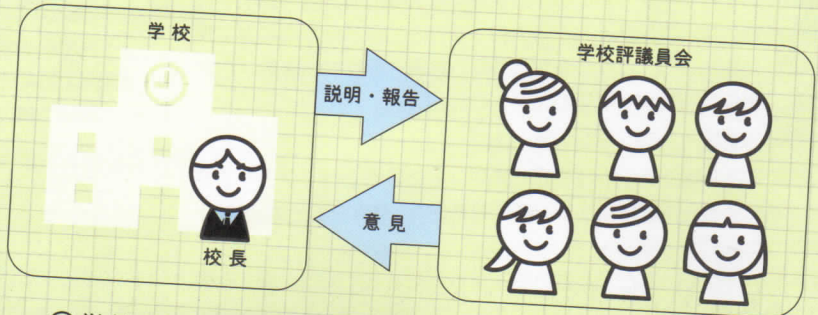
地域に関わられた学校から
地域と共にある学校
への転換



学校評議員会とは。

【開催】学期に1回程度

地域に開かれた学校づくりの推進のため、学校としての説明責任を果たすとともに、校長が必要に応じて地域住民や保護者等の意見を聞くために開催。学校評議員は、校長が推薦し、教育委員会が委嘱する。



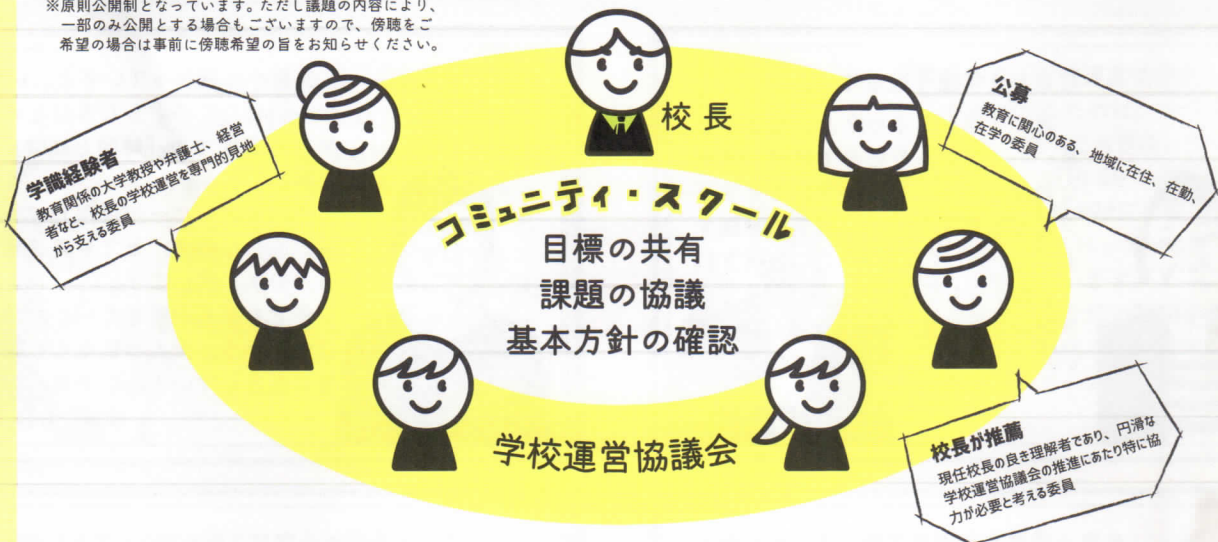
- 学校の説明責任を果たす
- 地域や保護者の協力を得る
- 地域や保護者の意向を把握し、学校運営へ反映する

Community School 学校運営協議会とは。

【開催】年に11回程度

※原則公開制となっています。ただし議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございますので、傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨をお知らせください。

地域住民や保護者等が一定の権限を持って学校運営に参画し意思決定を行うことにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取り組む合議制の機関。



- 地域や保護者と学校との組織的・持続的な連携・協働体制を構築する
- 地域が学校運営の当事者として参画する
- 課題解決や教育環境の向上・持続を図る

杉並区立井荻小学校 学校運営協議会

〒167-0041 東京都杉並区善福寺 1-10-19 TEL:03-3390-3141
HPhttp://www.suginami-school.ed.jp/iogishou/